

調査研究彙報

高梨氏館跡の発掘調査と復原整備 長野県中野市の依頼により、16世紀に造営された標記の県指定史跡に関わる復原整備の立案と発掘調査の指導を行った。本年度は主郭（130×100m）の東南隅部に遺存する庭園遺構の部分的な発掘調査にとどまったため、建物遺構を含めた本格的な調査は次年度送りとした。（細見・本中）

薬師寺典籍文書調査 東大資料編纂所との共同調査。第16～23,26函の整理分類・調書作成および写真撮影を行った。うち第18,20,23函については調書作成を完了し、第17～19,21函について写真撮影を終えた。各函には多量な近世文書が収められており、継続中のものも多い（91年7月）。（綾村・佃・館野・寺崎・渡邊）

醍醐寺文書調査 醍醐寺文書の写真撮影を継続中であるが、今年度は第14,15函につき継続して実施した（91年8月）。（綾村・佃・渡邊）

文化庁所蔵品調査 文化庁所蔵の「和歌躰十種」および「乙木莊絵図」の写真撮影を文化庁分室にて行った（91年3月）。（綾村・佃）

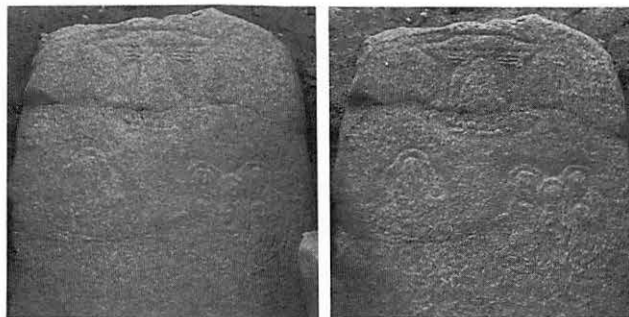
石山寺調査 石山寺の依頼により深密蔵聖教調査に参加（91年8,12月）。滋賀県教委の依頼により竹生島宝厳寺文書の調査に参加（92年2月）。嵯峨美術短大の依頼により聖教調査に参加（91年9月）。（綾村・橋本）

奈良博所蔵金属製容器の調査 奈良国立博物館所蔵（保管）の青銅製水瓶、鉢など12点を調査、日本のほか中国や朝鮮製品があり、時代は6～10世紀に及ぶ。次年度は主に材質分析を行なう予定。（金子・毛利光・杉山・玉田・小池・中村）

梵鐘資料の整理・出版 梵鐘研究の大家、坪井良平氏が、長年にわたって収集した資料を整理し、出版を予定している。今年度は、調書の副本を作るとともに、版下作成のために、実測図・拓本を複写した。（杉山）

低湿地遺跡の研究 英国エクセター大学で開催された先史学会の内容については、昨年の中報で報告した。各国共に低湿地遺跡の調査においては有機質遺物、特に木材の取り上げ、保存処理技術の向上が最大の問題であった。発表要旨を英文で発表した。（松井）

埋蔵文化財写真技術の研究 平成2年度から、埋蔵文化財センターの研修において写真課程が開始されたことにもちなみ、これまでに開発・蓄積し、あるいは新たに研究した技術の公表に努めている。（「埋文写真研究」vol.2）



（佃・井上・牛嶋） 自然光撮影（左）とストロボを用いた日中シンクロ撮影（右）